

哲学委員会いのちと心を考える分科会
(第 25 期・第 9 回)

議事要旨

会議名：哲学委員会いのちと心を考える分科会（第 25 期・第 9 回）

日 時：令和 4 年 6 月 11 日（土）16：00～18：10

会 場：オンライン開催

出席者：芦名、安藤、石井、一ノ瀬、香川、加藤、小島、島藺、鈴木、田坂、建石、羽生、
松原、八木、土井、以上 15 名

参考人：松田純

<議事>

（１）前回議事要旨の確認

（２）「安楽死と自死介助——世界の動向と日本への影響」

参考人：松田 純氏（静岡大学特任教授）

オランダ、ドイツの状況を中心に現況についてお話いただき、とくに自死・自殺を個人の人格権に含めて擁護するドイツでの議論について、分科会としてどのように考えていくのかが宿題となった。

（３）今後の予定、進め方について

a. 今後の日程・予定

・第 10 回分科会：8 月 31 日 14：00～16：00（日本学術会議 5 階 5－B）

参考人：本田まり氏（芝浦工業大学）—承認

・第 11 回分科会：10 月 15 日、22 日、29 日各土曜日午後で調整

参考人：小松美彦氏（東京大学総合文化研究科客員教授）—承認

b. 幹事選任の件：建石真公子委員を追加で選任することとした。

（４）その他

a. 5 月 6 日開催ヒトゲノム編集技術のガバナンスと基礎研究・臨床応用に関する委員会（第 25 期・第 3 回）についての報告、今後の予定について報告。香川委員が当該委員会主催のシンポジウムに登壇する予定。

b. 哲学委員会主催シンポジウムについて

＊12 月 10 日 13：30～17：00

＊「今なぜ『国家』が問われるのか」（仮）

c. 11 月 19 日、20 日開催予定の日本生命倫理学会の大会企画シンポジウムを本分科会の安藤委員が企画し、田坂委員、芦名委員に登壇することについて報告。学術会議の後援を申請する。